

13. 熱・燃焼、三態変化 H

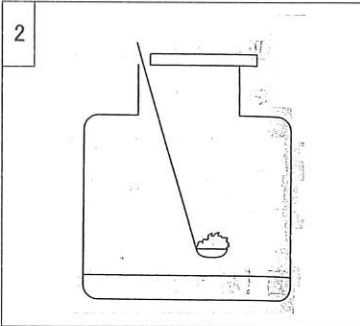
複製禁止

1	1	0,71	g	2	1,96	g	3	40	cm ³	4	70	cm ³	5	25	倍
	6	①	キ	②	イ	③	ア・エ・オ	④	イ・ウ・カ	各2点					

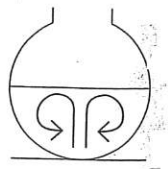
2	①	低	②	深	③	1240	④	温室効果	各2点						
---	---	---	---	---	---	------	---	------	-----	--	--	--	--	--	--

3	1	イ													
	3	A	炭	B	水										
	4	4 : 9													
	5	記号	う												
	理由	発生した二酸化炭素1gあたり、(う)では60gの水を、 (え)では50gの水を沸騰させることができる。 より多くの水を沸騰させた方が環境による影響が少ない。													
	6	う	各3点												

2



4	1	①	イ	②	オ	③	カ	④	キ	2	対流	3				
	4	急な沸騰を防ぐため。							5	空気						
	6	水蒸気														
	7	水蒸気が冷えて、小さな水の粒ができるから。														
	8	湯気が蒸発して、再び水蒸気になるから。														
												各2点				



5	1	ウ	2	ア	3	酸素	17	%	二酸化炭素	4	%					
	4	ア	5	イ	6	イ	7	ウ								
	8	ろうそくが燃えると水ができるが、炭が燃えても水ができない。														
																各2点

6	1	空気中の水蒸気が冷やされて水になり、ポウルの外側にくっついたから。															
	2	-	0,07	°C	3	-	0,47	°C	4	-	0,16	°C	5	0,64	g	各2点	